

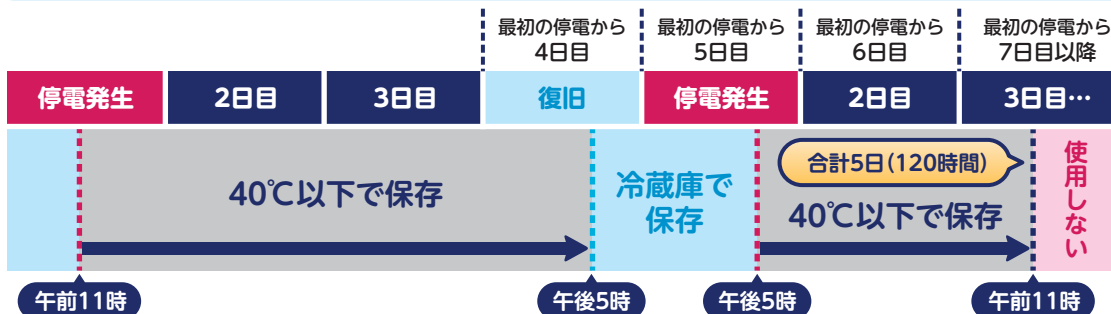
# エブリスディドライシロップ 災害時などの保存について

エブリスディドライシロップは冷蔵庫での保存が必要です。しかし、災害などによって自宅を離れて避難した場合や停電で冷蔵庫が使えない場合は、その期間が**合計5日(120時間)以内**であれば、直射日光の当たらない40℃以下の場所で保存することができます。

## ● 停電が長期化した例



## ● 停電が断続的に発生した例

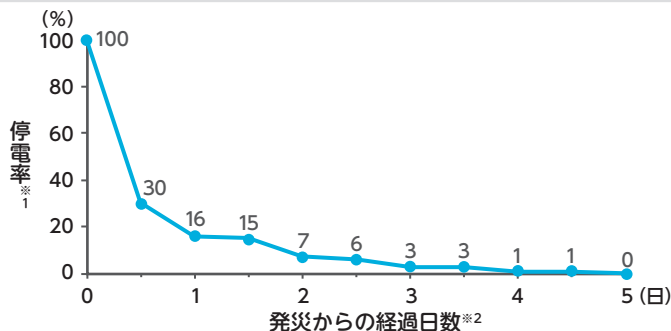


- ✓ 40℃を超える場所に一時でも置いた場合は、使用しないでください。
- ✓ 冷蔵庫以外の場所(40℃以下)での保存期間が合計5日(120時間)を超えた場合は、使用しないでください。
- ✓ 120時間には、持ち運びや投与の際に冷蔵庫や保冷バッグなど2～8℃の場所から取り出していた累計時間も含まれますので、ご注意ください。服用後は速やかに冷蔵庫にお戻しください。

### 参考

平成28年に発生した熊本地震では、本震発生から約5日で停電が解消されました<sup>1)</sup>。

1) 経済産業省、平成二十八年熊本地震における設備被害と停電復旧対応について。  
[https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/hoan\\_shohi/denryoku\\_anzen/pdf/013\\_04\\_00.pdf](https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/hoan_shohi/denryoku_anzen/pdf/013_04_00.pdf),  
 (2026年1月7日閲覧)より改変



※1: 停電戸数/最大停電戸数(%) ※2: 本震が発生した4月16日が起点

**エブリスディ錠<sup>※1</sup>は室温での保存が可能で、有効期間は48カ月です<sup>※2</sup>。**

※1: 2歳以上かつ体重20kg以上の患者さんが使用できるお薬です。 ※2: 個装箱・PTPシートに記載の使用期限をご確認のうえ、ご使用ください。

# エブリスディドライシロップ 災害への備え

災害によって自宅を離れて避難所で過ごすような場合には、普段どおりにお薬を服用できないことも考えられます。対処方法を確認しておきましょう。

## 予定時刻に服用できなかった場合

服用予定時刻から6時間以内であれば、可能な限り速やかに服用してください。翌日はいつもの予定時刻に服用してください。

服用予定時刻から6時間を超えた場合は、翌日の服用予定時刻に1回分の用量を服用してください。

## 服用後に吐き出してしまった場合

追加で服用せず、翌日の服用予定時刻に1回分の用量を服用してください。

## お薬が経鼻または胃ろうチューブから漏れたり、詰まったりして投与を中止した場合

追加で投与せず、翌日の投与予定時刻に1回分の用量を投与してください。

## お薬がこぼれた場合

お薬に直接触れないように手袋などを着用し、水で湿らせたペーパータオルなどで拭き取ってください。

## いざという時のために、準備しておきましょう

### 保冷剤・保冷バッグ

※40℃以下でお薬の瓶を保存するために使用します。

### 予備のディスペンサー

### ディスペンサー洗浄用あるいはフラッシュ用の水（ペットボトルの水など）

### 手帳「エブリスディ®による治療を受けられる方、および治療をサポートされる方へ」（治療ダイアリー付き）

弊社ウェブサイト **[With your SMA]** では、お薬と一緒にお渡ししているエブリスディ専用保冷バッグの使用方法\*などを紹介しています。

\*エブリスディによる治療を現在受けている、または受ける予定がある方ならびに治療をサポートされる方を対象としており、閲覧には注意事項へのご了承が必要です。



<https://with-your-sma.jp/>

左記 URL または二次元コードよりアクセスいただけます。

## あなたのお名前と緊急連絡先、通院先の医療機関名などをご記入ください

お名前		生年月日 血液型	年 月 日	型
緊急連絡先		普通の 服用時刻	時	分頃
医療機関名		主治医		先生